

青大 ほけんだより

2025年9月（第13号）



心と体の調子を整えよう～後期授業が始まりました～

長期休暇明け前後は、何となく不安を感じたり、悩んだり、体がだるいなどの不調がでやすい時期です。そんな心と体に現れる小さなサイン（SOS）をどうか知らせてください。青大の保健室やカウンセラー、学生支援室を利用することはもちろんですが、身近な人に相談しづらい時には、厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」（<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>）では、電話やSNSの相談窓口をわかりやすく紹介しています。皆さん一人で背負わなくていいような環境と一緒に考えていきましょう。



青大探検～「薬学教育センター」って何をするところ？～

青大構内にある様々な施設や設備、そこに働く皆さんを紹介します。そして、青大生の「困った」

「どうしよう」を「良かった！」につなげるようなヒントをお知らせします。

今回は「薬学教育センター」についてお知らせします。

～まずは自己紹介～

センター長 福井 雅之先生

小豆島出身。東京理科大を卒業後、金沢大学（博士課程）修了。小さい頃から生物や細胞に興味があり、現在は「免疫学」を専門としています。免疫は「特定のものにしか反応せず、そして正確に見分けて排除する」。この機序に強く惹かれ、この分野の研究を進めています。

事務 佐藤 真理子さん



青森県薬剤師会で事務員として30数年勤務。その後、本センターへ勤務し4年目となります。前職では接すことのなかった学生と、いろいろな話をするのが樂しみです。

～薬学教育センターって何をするところ？どこにあるの？～

5号館5階（5528）にあり、隣は薬学教育センター自習室（5527）で個別のブースがあります。月～金曜日の10:00～16:00まで開館していて、薬学部の学生を対象に様々な相談を受けています。1年目はあまり来室者がいませんでしたが、現在は、成績、友人、家庭、試験等についての悩みや相談のために、毎日たくさんの学生が来室し、椅子が足りなくなることもあります。また毎週火・木曜日は立崎哲也さん（薬剤師の免許を持っているダンサー）が数学や化学の教科指導をしてくれます。話しやすくわかりやすいと評判です。薬学教育センターは、授業や勉強に限らず、どんな相談でも、小さな悩みでも気軽に話せる場所です。

～青大生にひとつ～

福井先生

社会に出る前に何かひとつ「これに打ち込みました」というものを持って欲しい。自分もそうでしたが、面白くないと感じることでも続けること。逃げ出さずに続けていればどうにかなります。

佐藤さん

みんなに薬剤師になって欲しいです。いろいろな職業がありますが薬剤師という資格があれば強みになります。毎日の積み重ねがきっと素晴らしい未来につながっていくはずです。

2025ねぶた「薬学教育センター」の提灯を作りました



福井先生

植木先生

水野先生